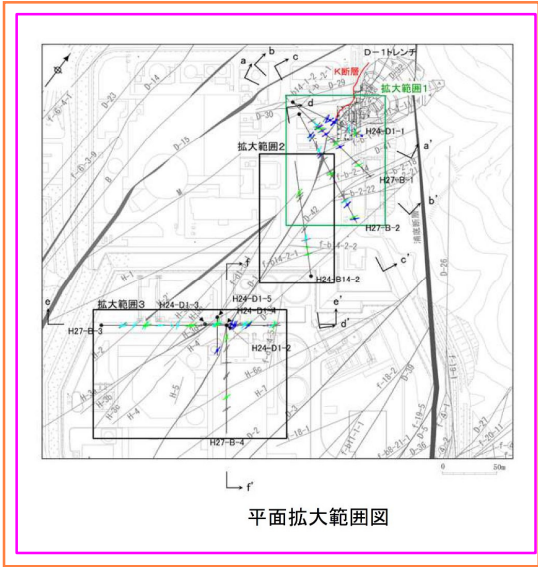
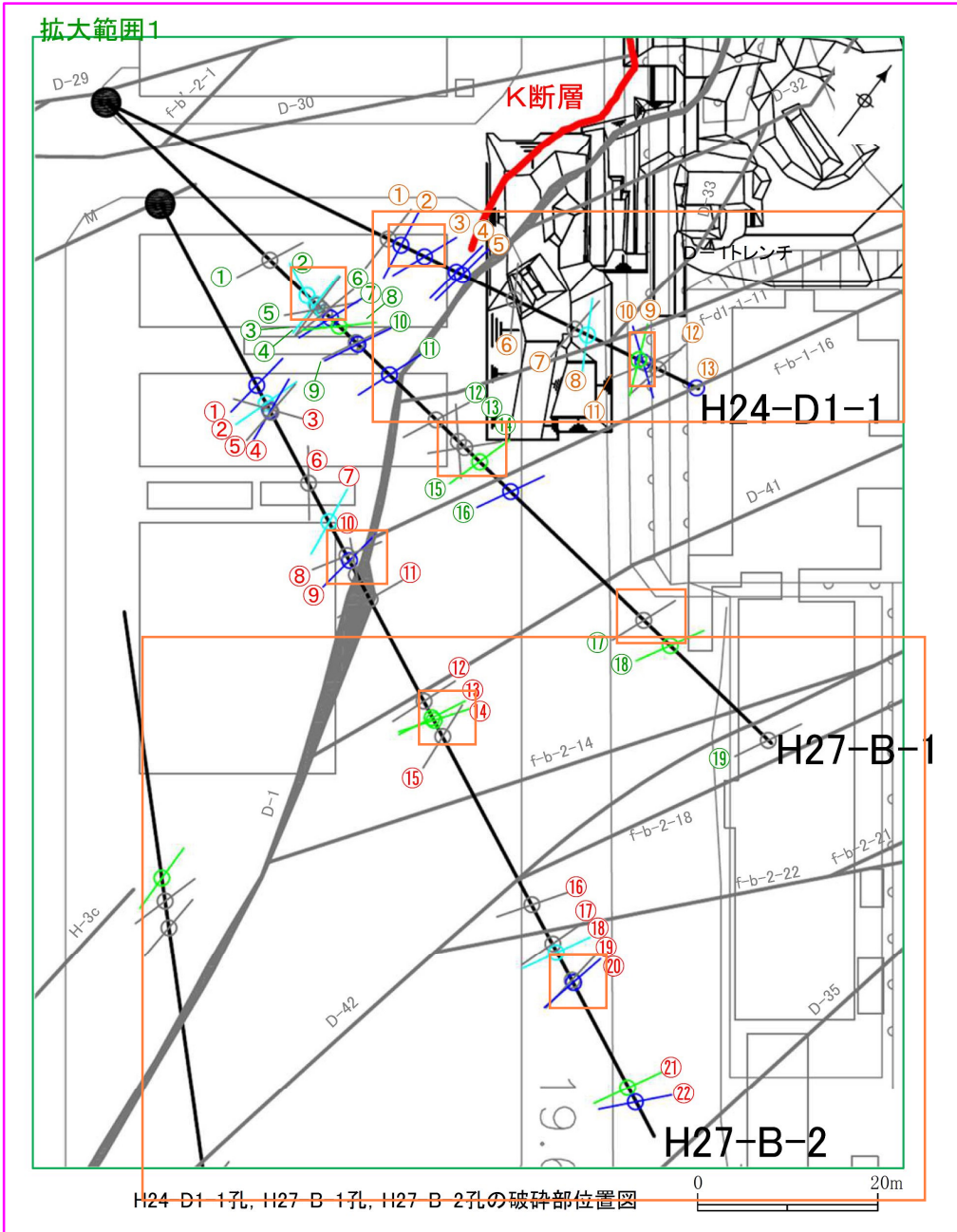


K断層の連続性評価について

48~51, 76, 157: 走向・傾斜等の修正内容を反映。これに伴い、関連する周辺破碎帯の分布を修正。
 ・ f-d1-1-11, D-33, f-b-1-16, f-d1-1-10
 ・ D-44→f-b-2-18,

修正後

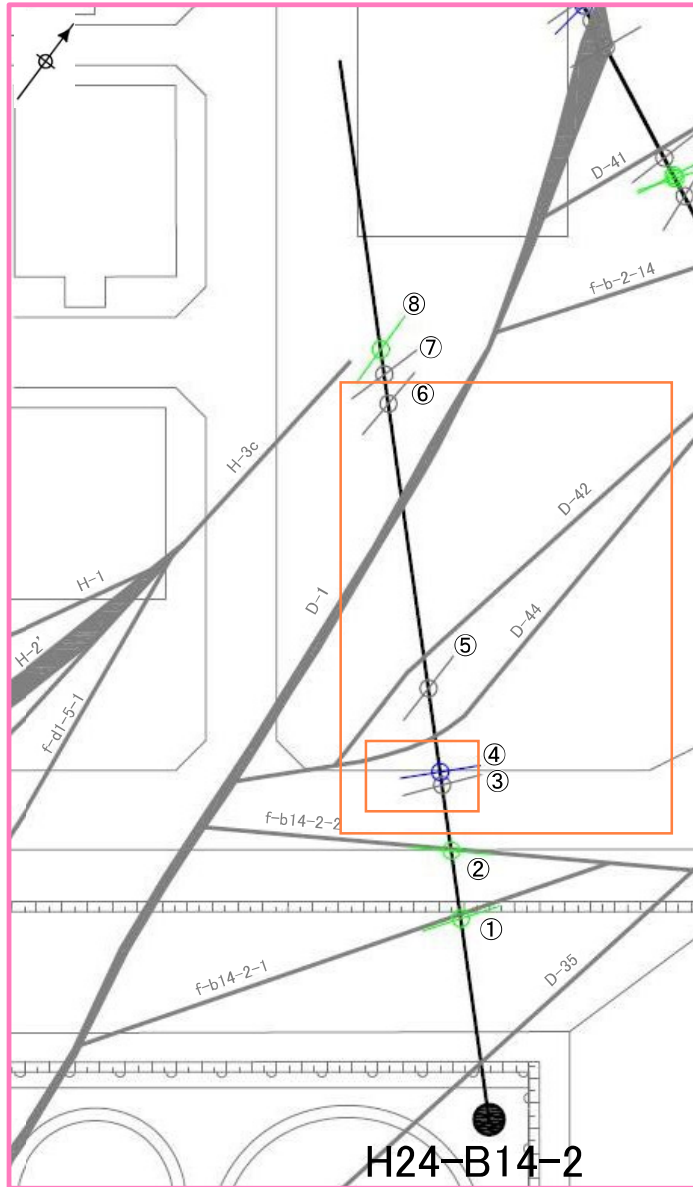


- ①: 破碎部番号 (H24-D1-1孔)
- ①: 破碎部番号 (H27-B-1孔)
- ①: 破碎部番号 (H27-B-2孔)

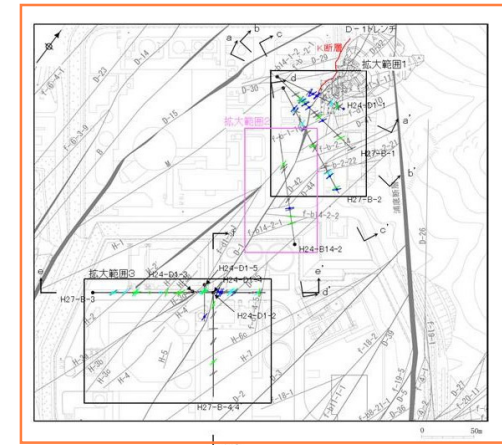
凡例	
●	ボーリング孔
—	破碎帯 (T.P. -15m)
—	K断層 (T.P. -15m)
↗	カタレーサイトからなる破碎部
↘	断層ガウジを伴う破碎部 (正断層センス卓越)
↗	断層ガウジを伴う破碎部 (横ずれ成分を伴う正断層センス)
↘	断層ガウジを伴う破碎部 (横ずれセンス卓越)

修正前

拡大範囲2



H24-B14-2孔の破砕部位置図



平面拡大範囲図

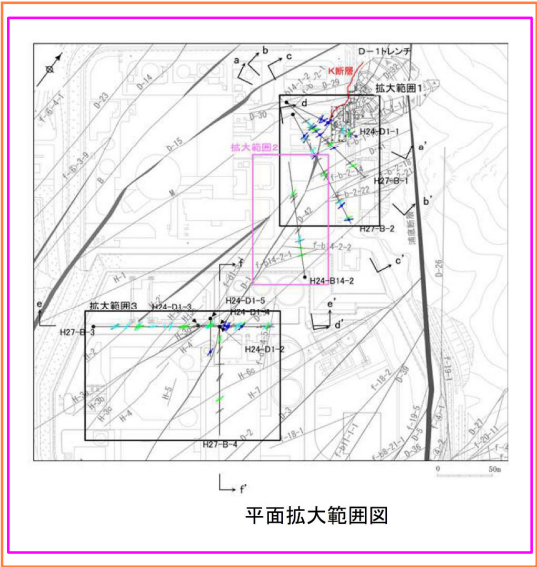
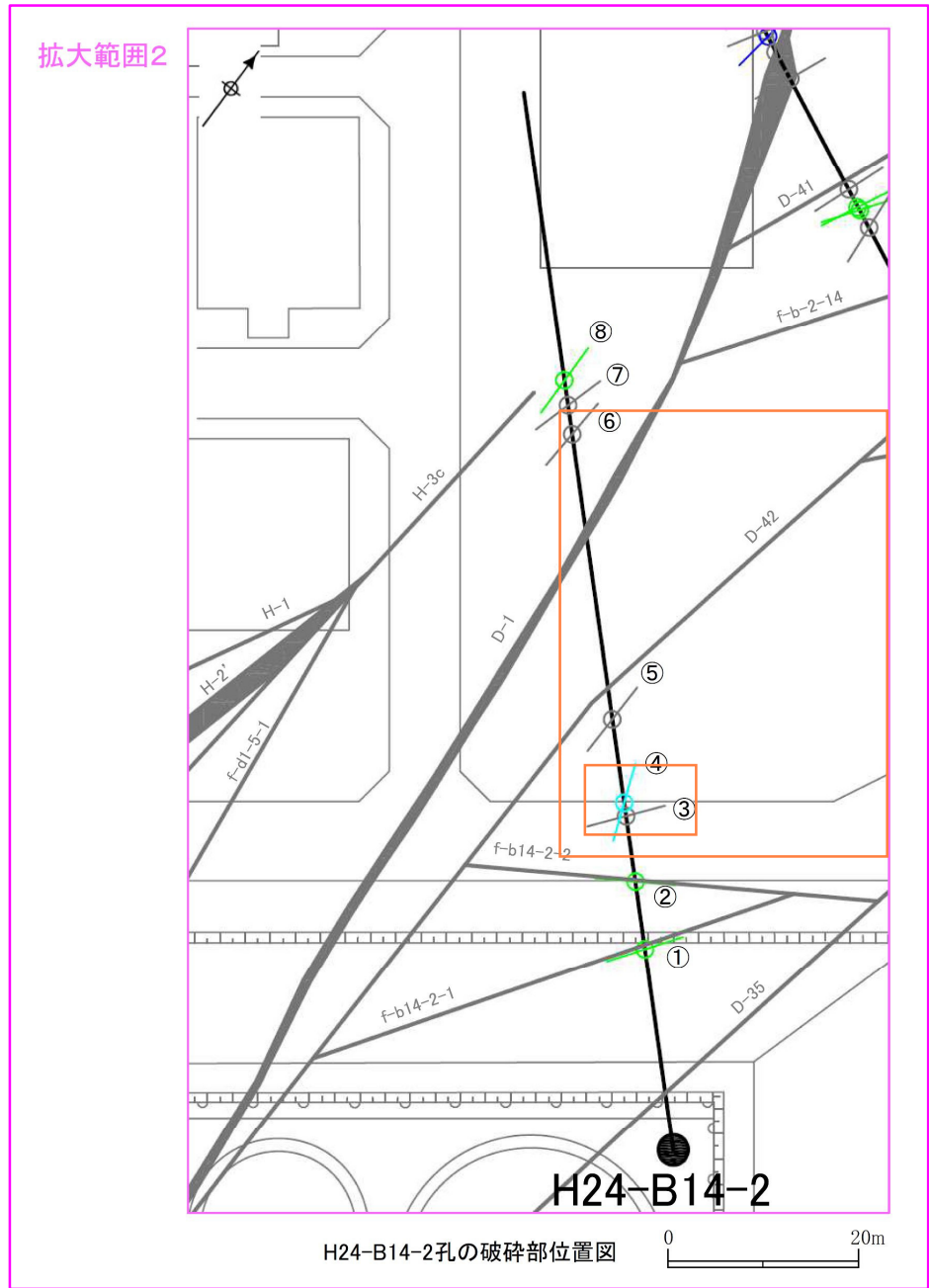
①：破砕部番号

凡例	
●	ボーリング孔
—	破砕帯(T.P. -15m)
↗	カタレーサイトからなる破砕部
↘	断層ガウジを伴う破砕部(正断層センス卓越)
↖	断層ガウジを伴う破砕部(横ずれ成分を伴う正断層センス)
↙	断層ガウジを伴う破砕部(横ずれセンス卓越)

K断層の連続性評価について

76, 157 : 走向・傾斜等の修正内容を反映。これに伴い、関連する周辺破碎帯の分布を修正。
 ・D-44の分布を修正

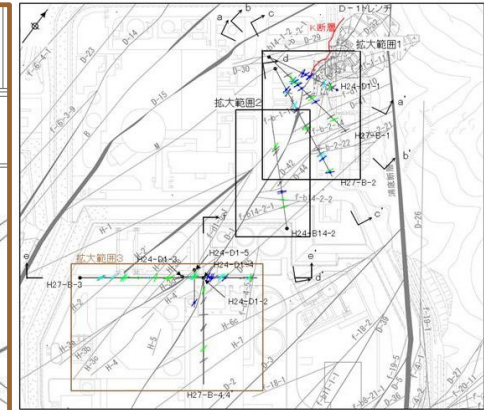
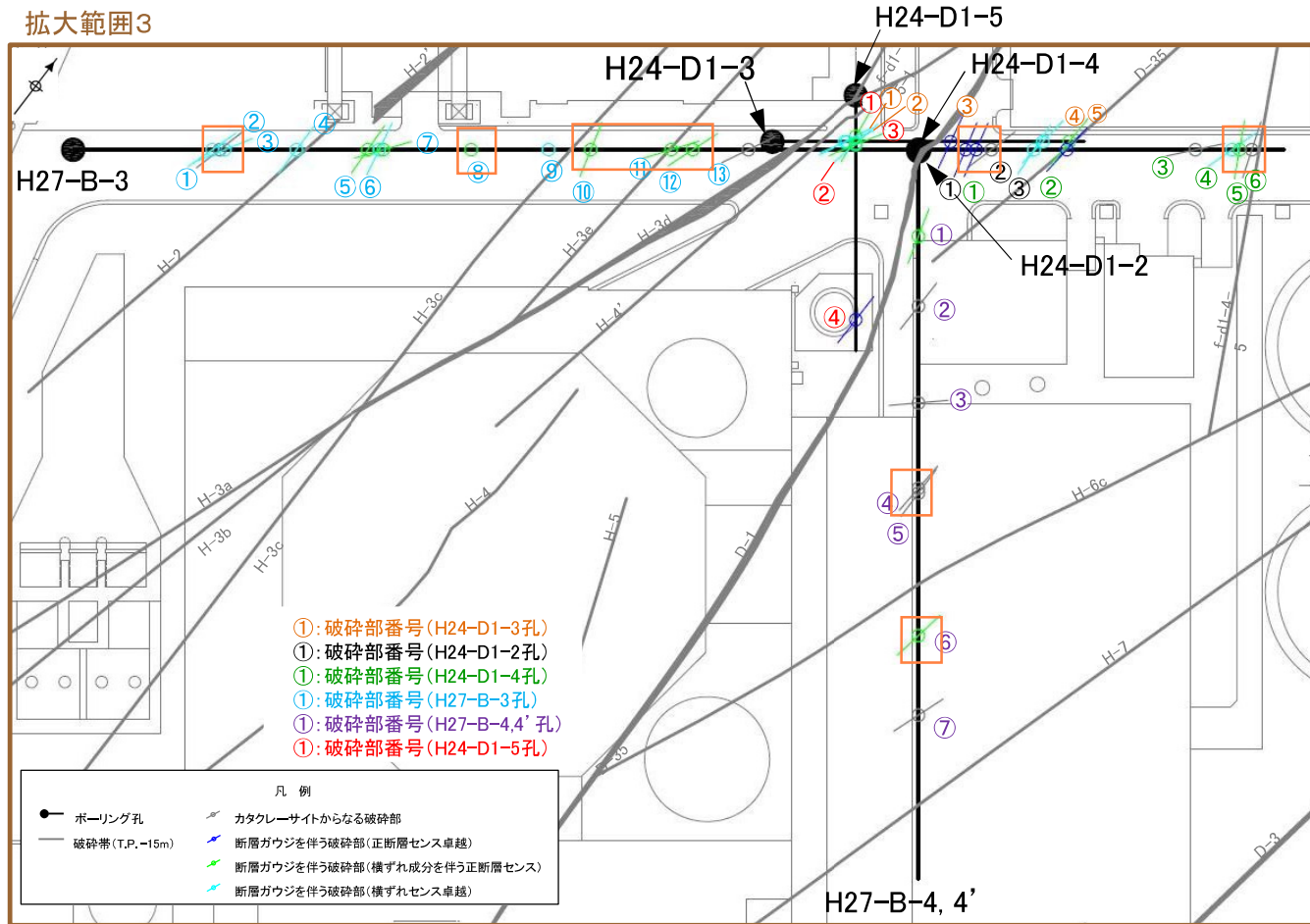
修正後



①: 破碎部番号

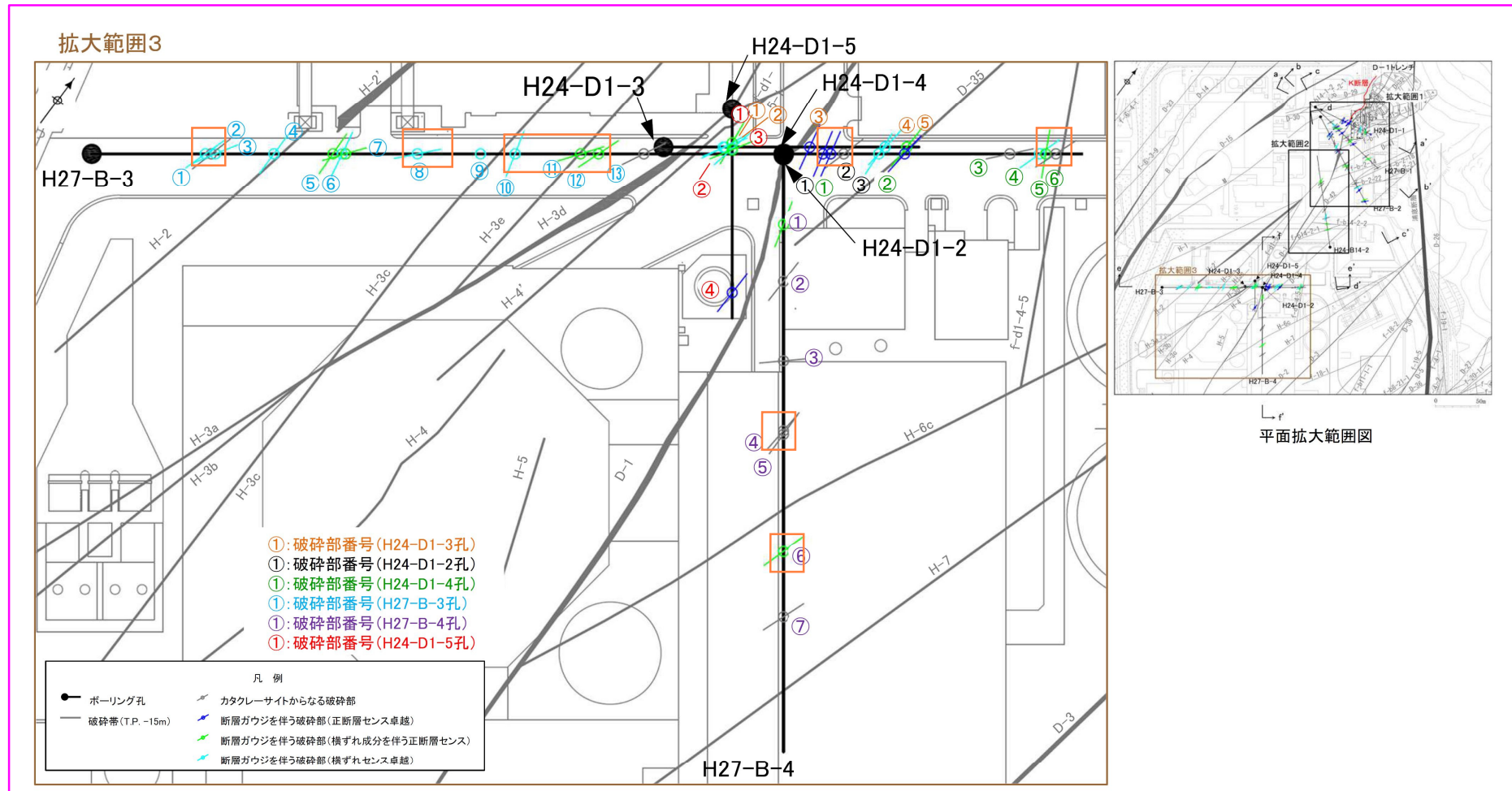
凡例	
●	ボーリング孔
—	破碎帯 (T.P. -15m)
↗	カタレーサイトからなる破碎部
↘	断層ガウジを伴う破碎部 (正断層センス卓越)
↖	断層ガウジを伴う破碎部 (横ずれ成分を伴う正断層センス)
↙	断層ガウジを伴う破碎部 (横ずれセンス卓越)

拡大範囲3

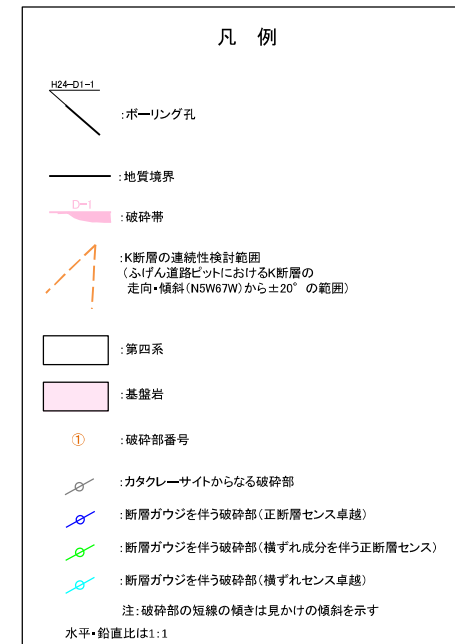
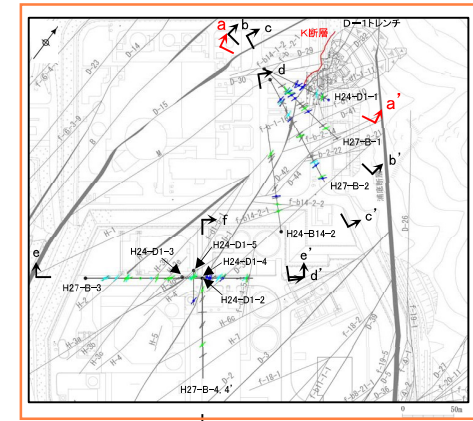
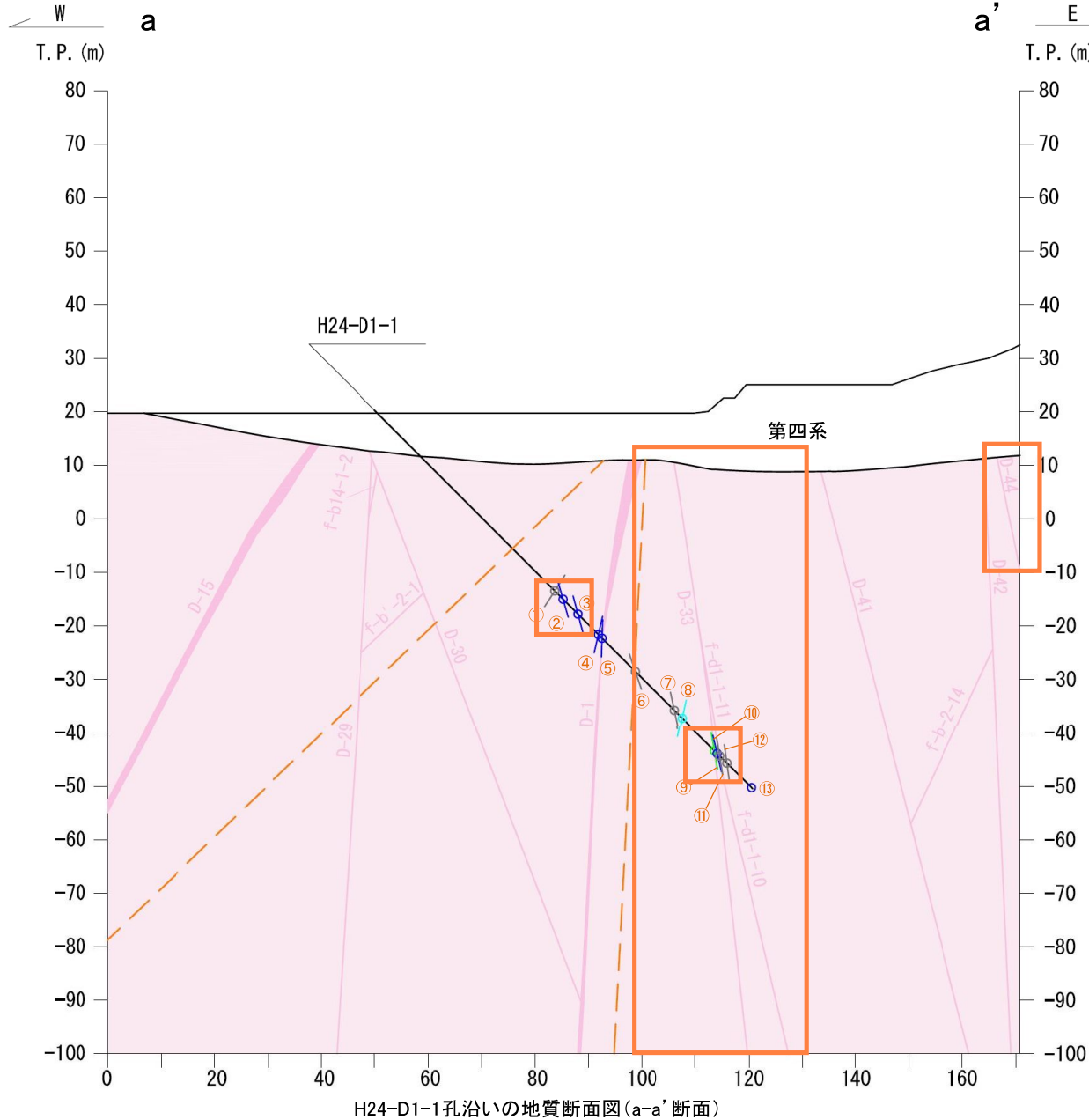


H24-D1-2～5孔, H27-B-3孔, H27-B-4, 4' 孔の破砕部位置図

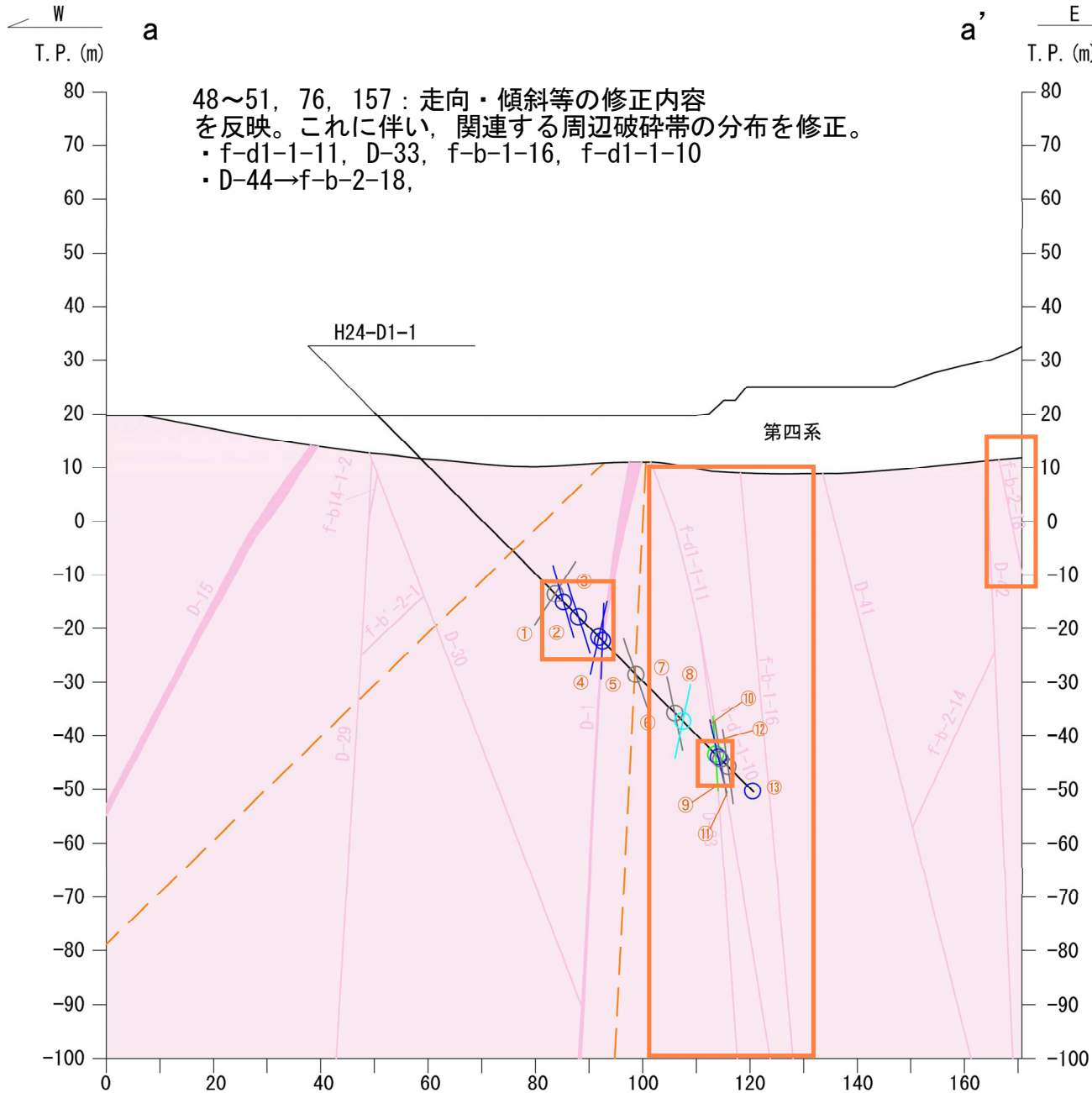




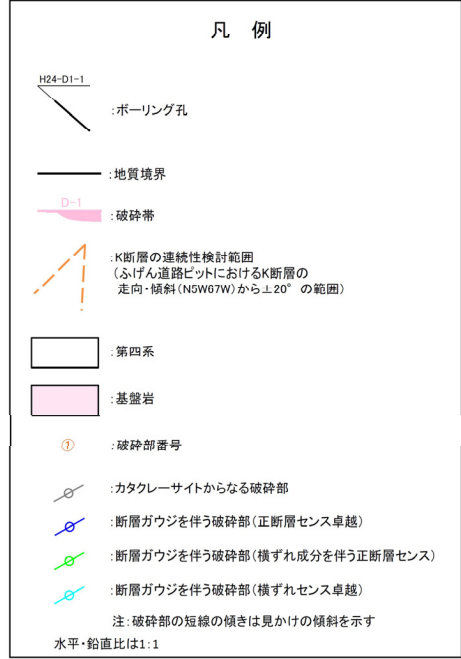
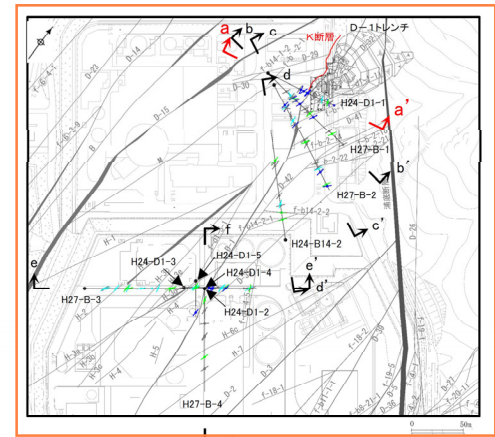
H24-D1-2～5孔, H27-B-3孔, H27-B-4, 4' 孔の破砕部位置図



K断層の連続性評価について

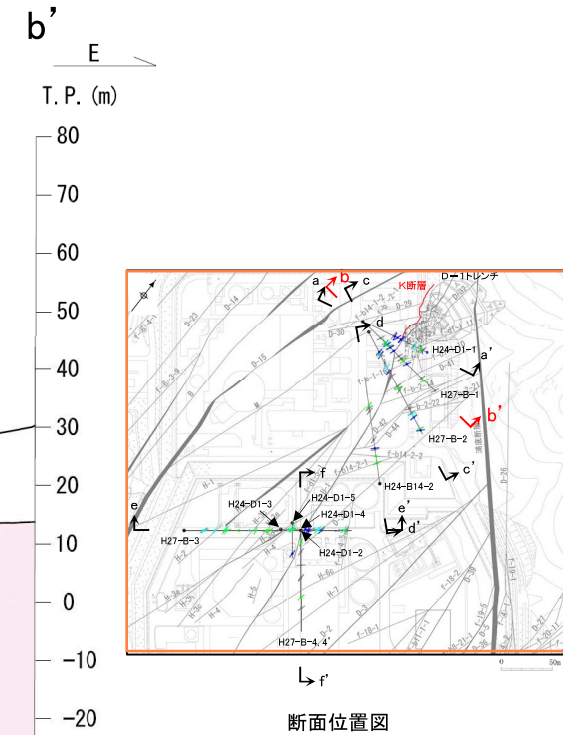
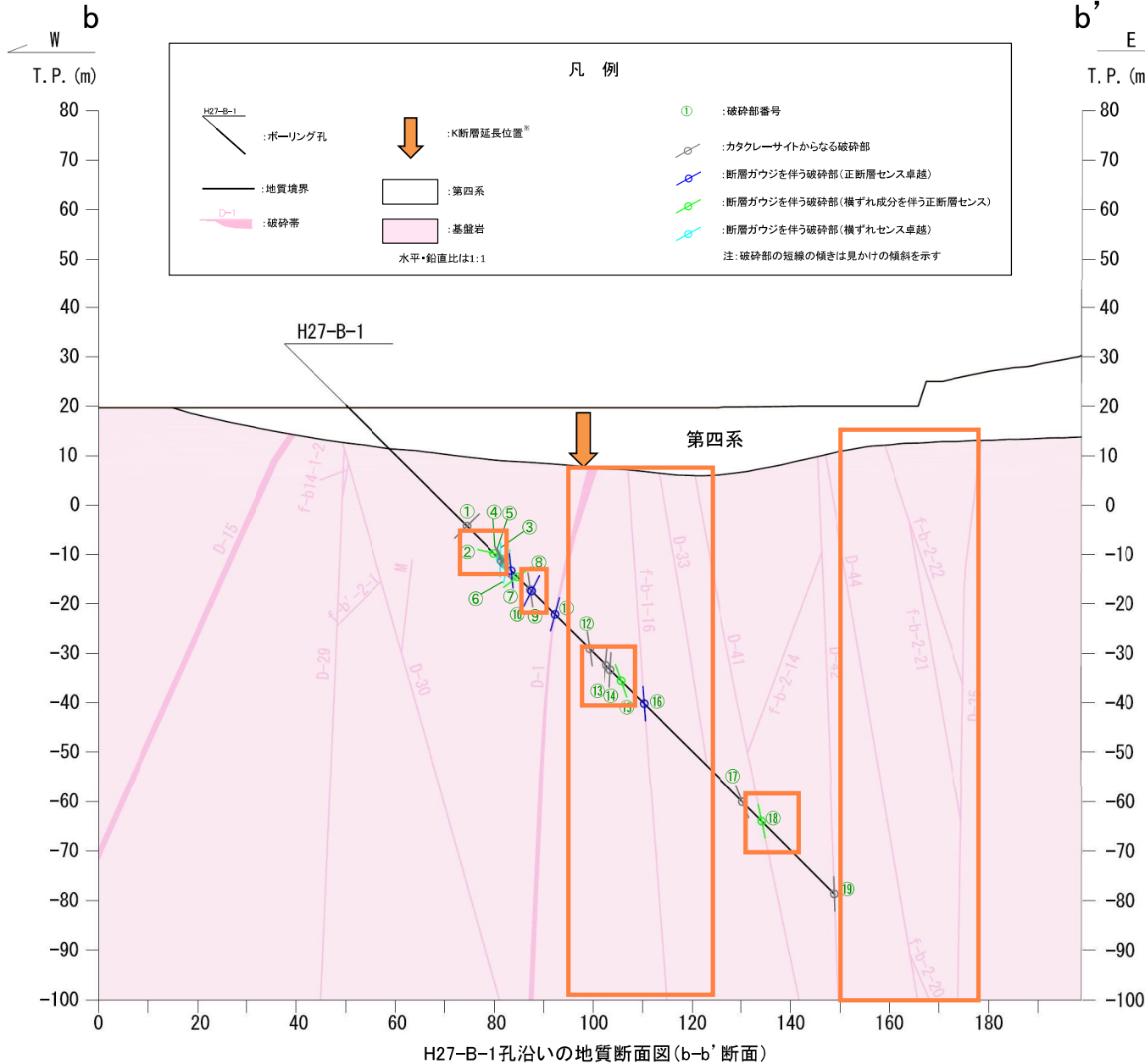


48~51, 76, 157 : 走向・傾斜等の修正内容を反映。これに伴い、関連する周辺破碎帯の分布を修正。
 ・ f-d1-1-11, D-33, f-b-1-16, f-d1-1-10
 ・ D-44→f-b-2-18,



H24-D1-1孔沿いの地質断面図(a-a'断面)

修正前

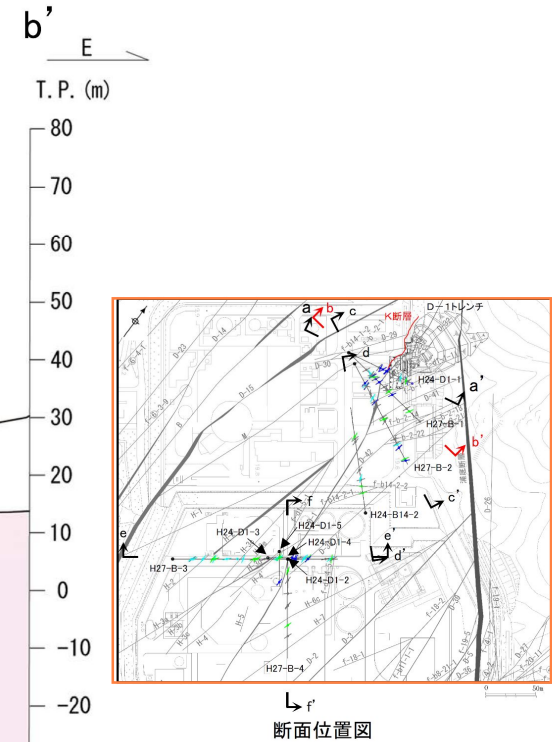
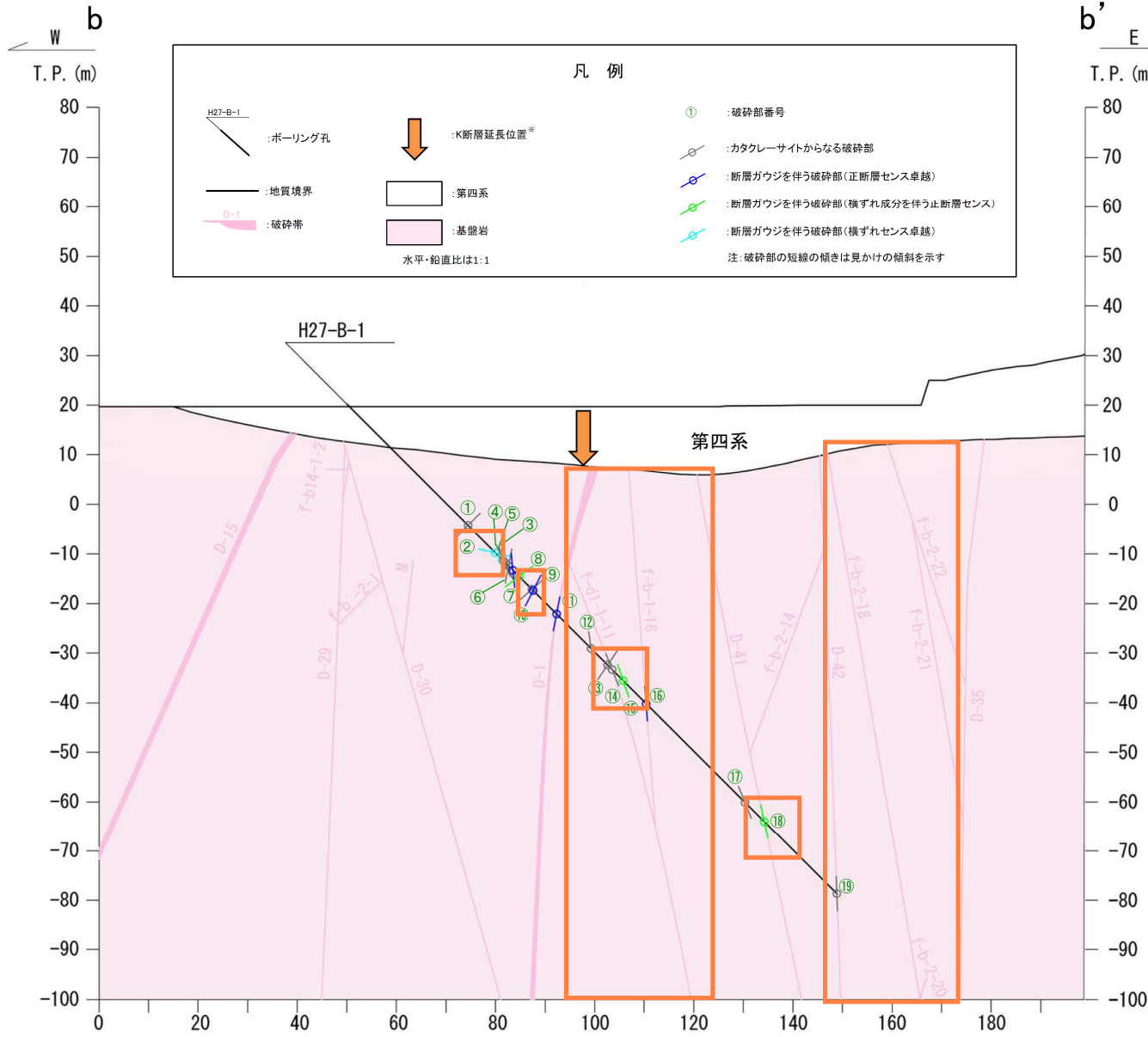


※：K断層延長位置は、以下に示す方法により求めた走向・傾斜を用いた。
 (走向は、T.P.-15mにおけるK断層の端部を結んだ線の方(N7W)とした。
 傾斜は、K断層とほぼ直交するD-1トレンチの断面C-C'におけるK断層の上端と下端を結んだ線の傾き(78W)とした。)

K断層の連続性評価について

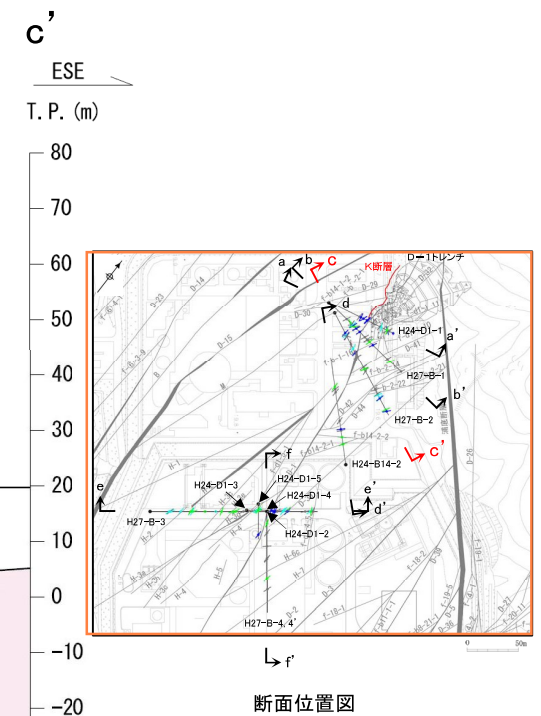
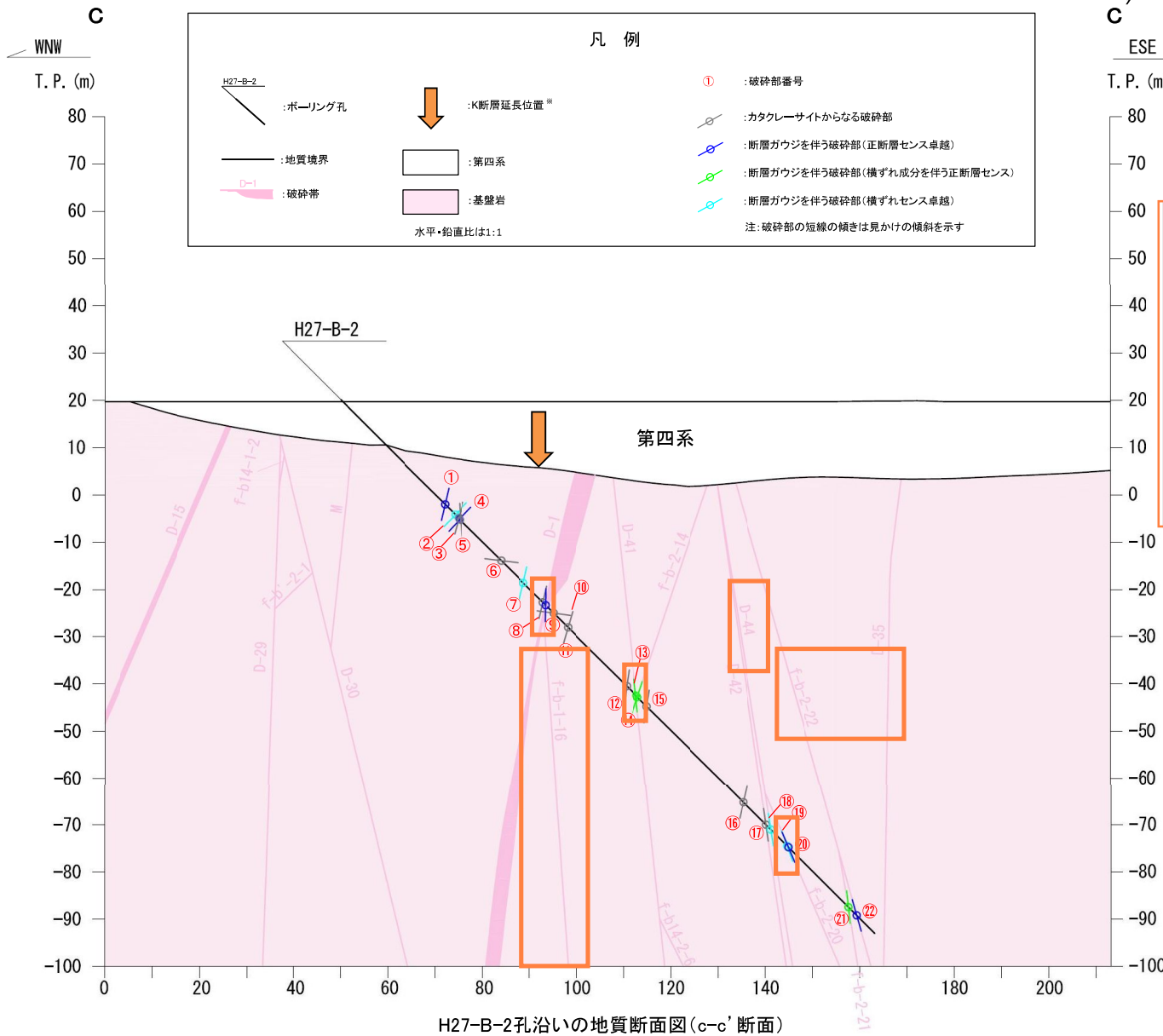
48~51, 76, 157 : 走向・傾斜等の修正内容を反映。これに伴い、関連する周辺破碎帯の分布を修正。
 ・ f-d1-1-11, D-33, f-b-1-16
 ・ D-44→f-b-2-18

修正後



※: K断層延長位置は、以下に示す方法により求めた走向・傾斜を用いた。
 (走向は、T.P.-15mにおけるK断層の端部を結んだ線(方向N7W)とした。
 傾斜は、K断層とほぼ直交するD-1トレンチの断面C-C'におけるK断層の上端と下端を結んだ線の傾き(78W)とした。)

H27-B-1孔沿いの地質断面図(b-b'断面)

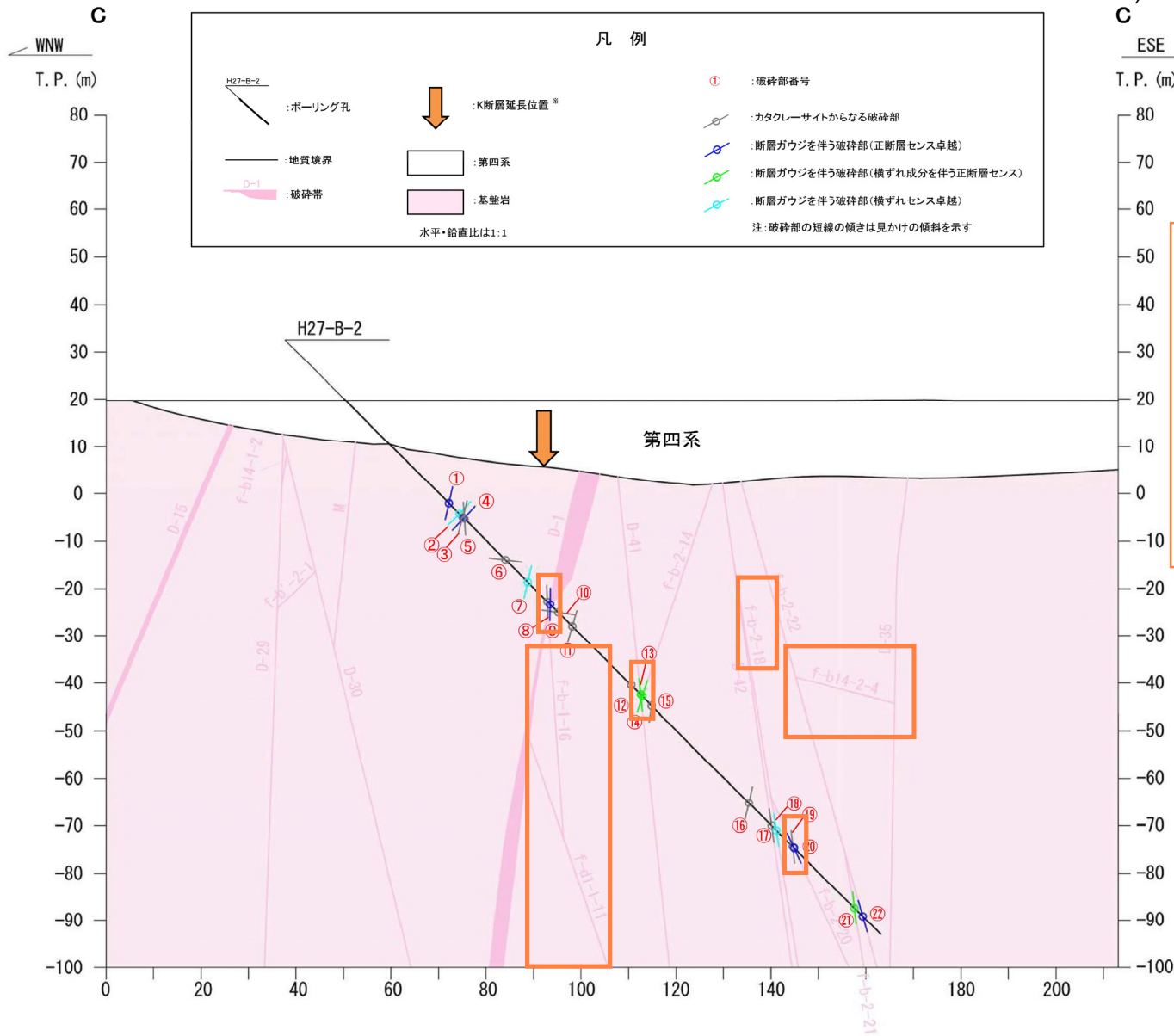


※: K断層延長位置は、以下に示す方法により求めた走向・傾斜を用いた。
(走向は、T.P.-15mにおけるK断層の端部を結んだ線の方(N7W)とした。
傾斜は、K断層とほぼ直交するD-1トレンチの断面C-C'におけるK断層の上端と下端を結んだ線の傾き(78W)とした。)

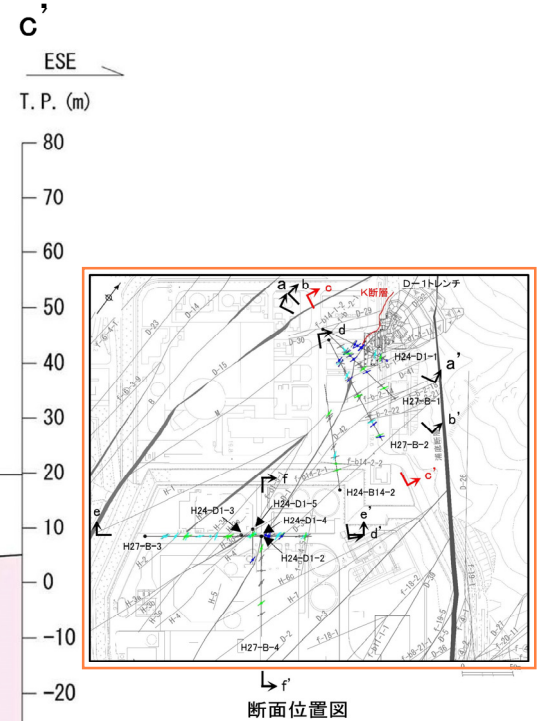
K断層の連続性評価について

48~51, 76, 82~85, 157 : 走向・傾斜等の修正内容を反映。これに伴い、関連する周辺破碎帯の分布を修正。
 ・ f-d1-1-11, f-b-1-16
 ・ D-44→f-b-2-18とf-b14-2-4

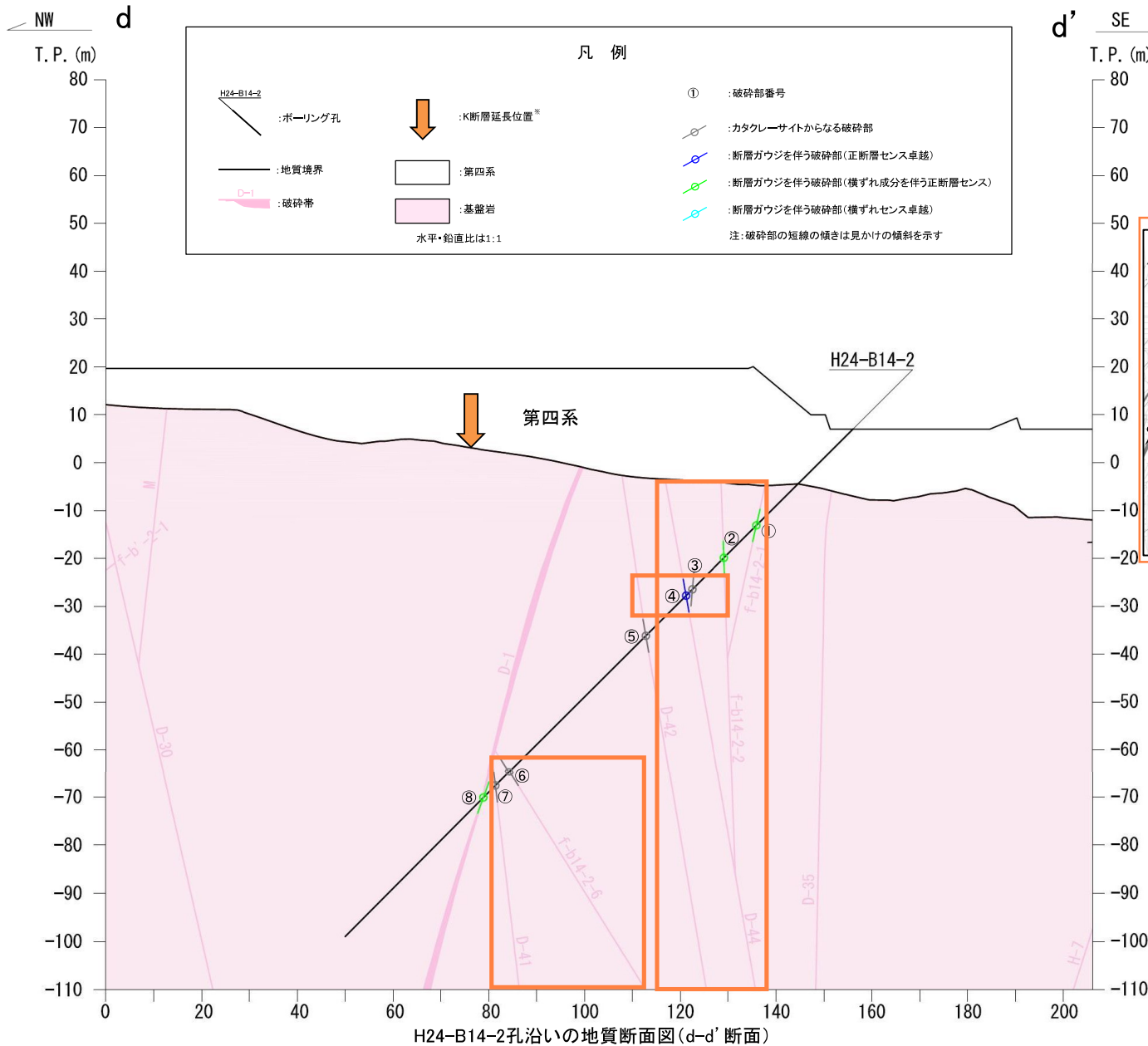
修正後



H27-B-2孔沿いの地質断面図(c-c' 断面)



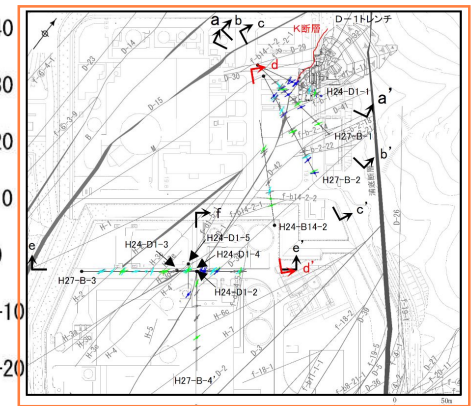
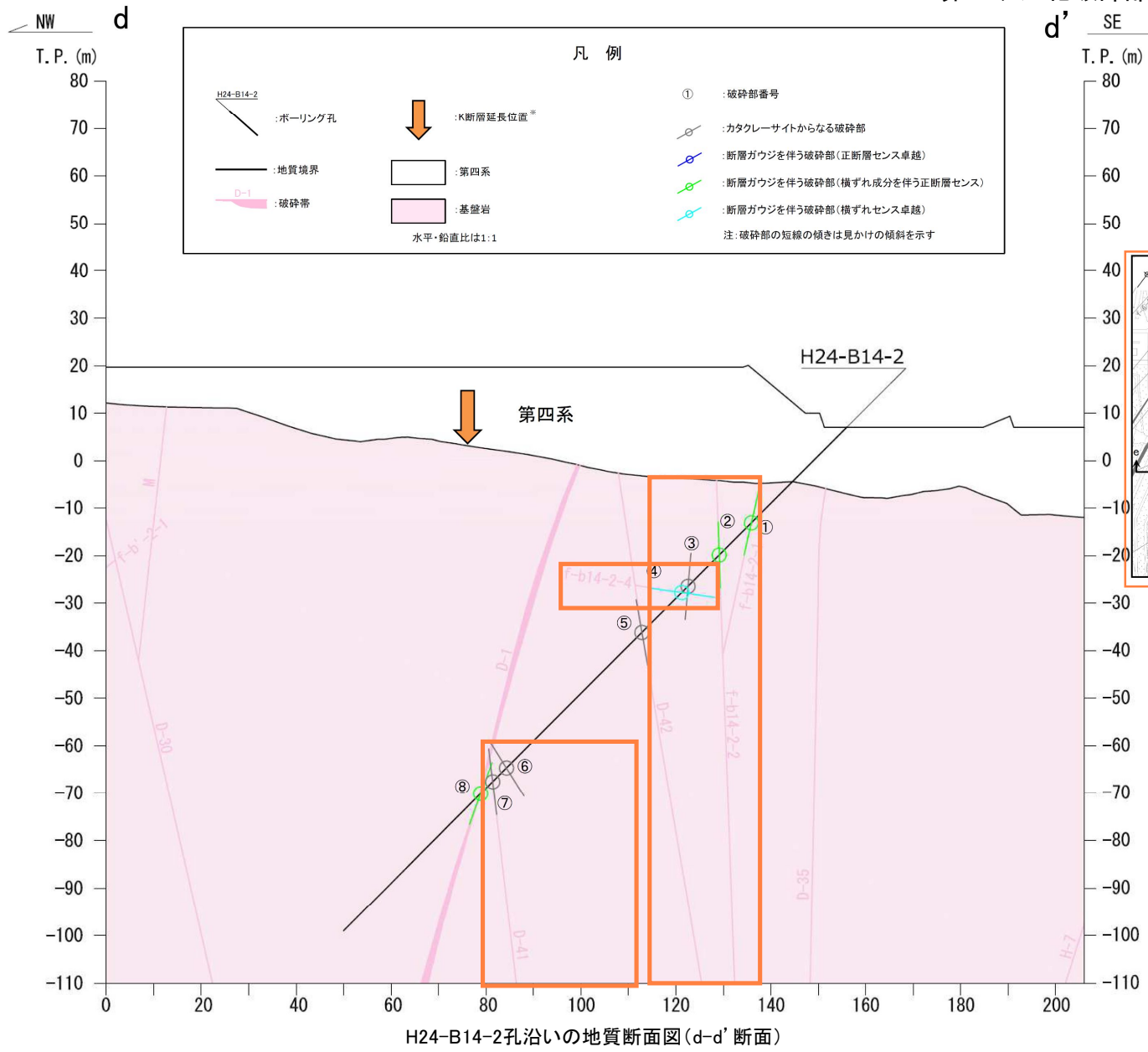
※: K断層延長位置は、以下に示す方法により求めた走向・傾斜を用いた。
 (走向は、T.P.-15mにおけるK断層の端部を結んだ線の方(N7W)とした。
 傾斜は、K断層とほぼ直交するD-1トレンチの断面C-C'におけるK断層の上端と下端を結んだ線の傾き(78W)とした。)



K断層の連続性評価について

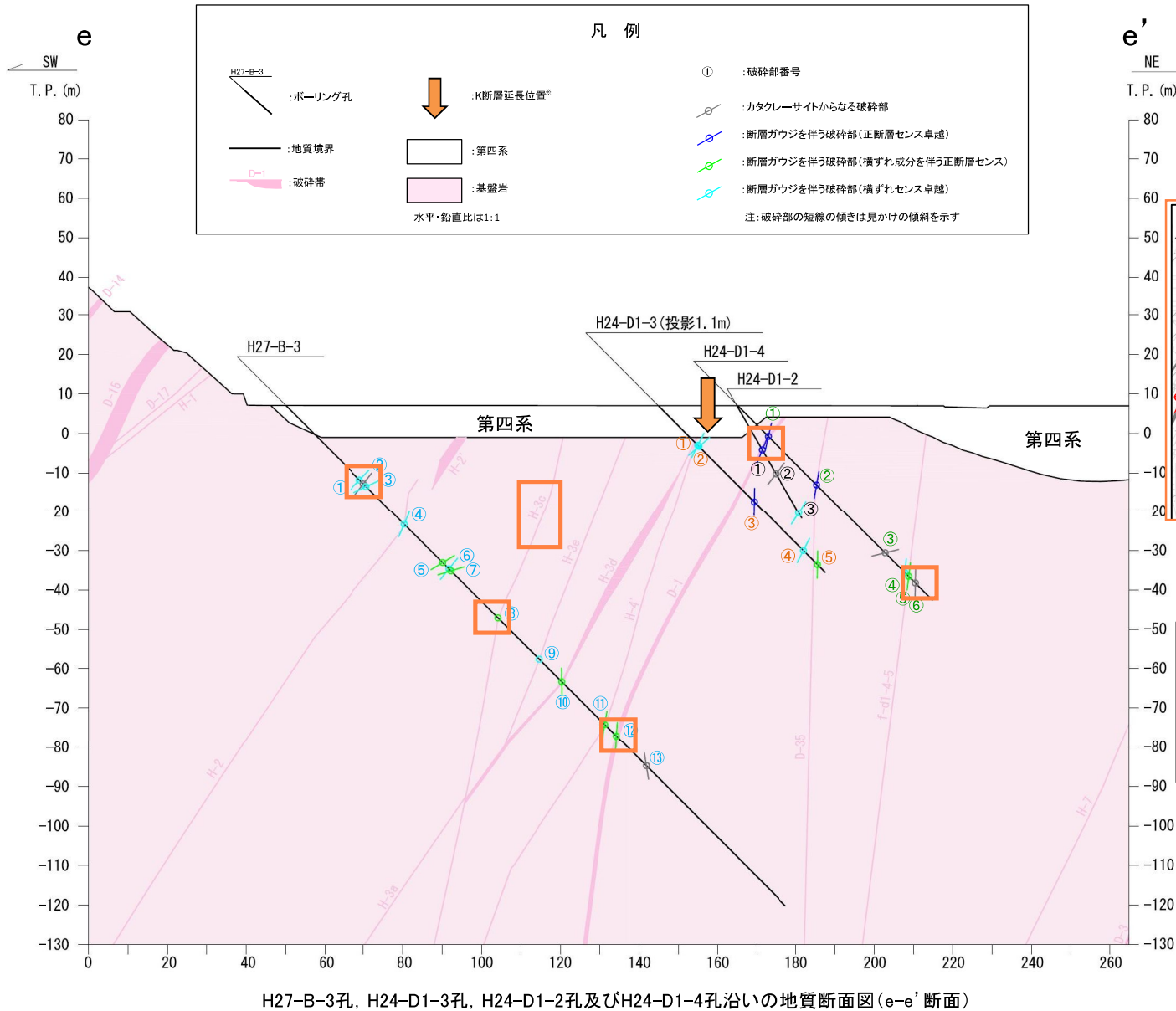
82~85, 87, 157 : 走向・傾斜等の修正内容を反映。これに伴い、関連する周辺破碎帯の分布を修正。**修正後**

- ・ D-44→f-b14-2-4
- ・ f-b14-2-6→非モデル化破碎部



※: K断層延長位置は、以下に示す方法により求めた走向・傾斜を用いた。
 (走向は、T.P.-15mにおけるK断層の端部を結んだ線(方向N7W)とした。
 傾斜は、K断層とほぼ直交するD-1トレンチの断面C-C'におけるK断層の上端と下端を結んだ線の傾き(78W)とした。)

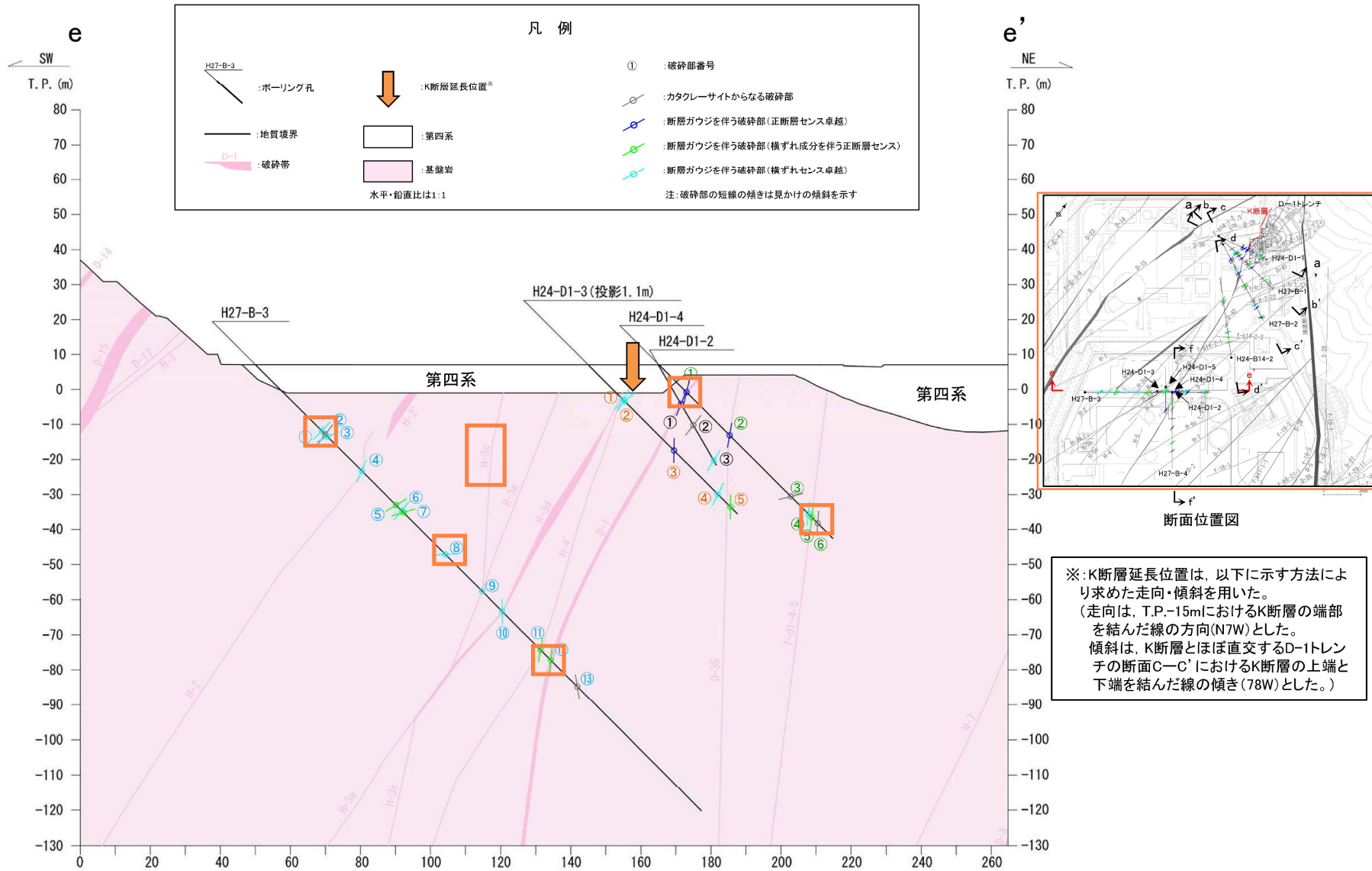
H24-B14-2孔沿いの地質断面図(d-d' 断面)



K断層の連続性評価について

119~122, 157 : 走向・傾斜等の修正内容を反映。これに伴い、関連する周辺破碎帯の分布を修正。
 ・ H-3c

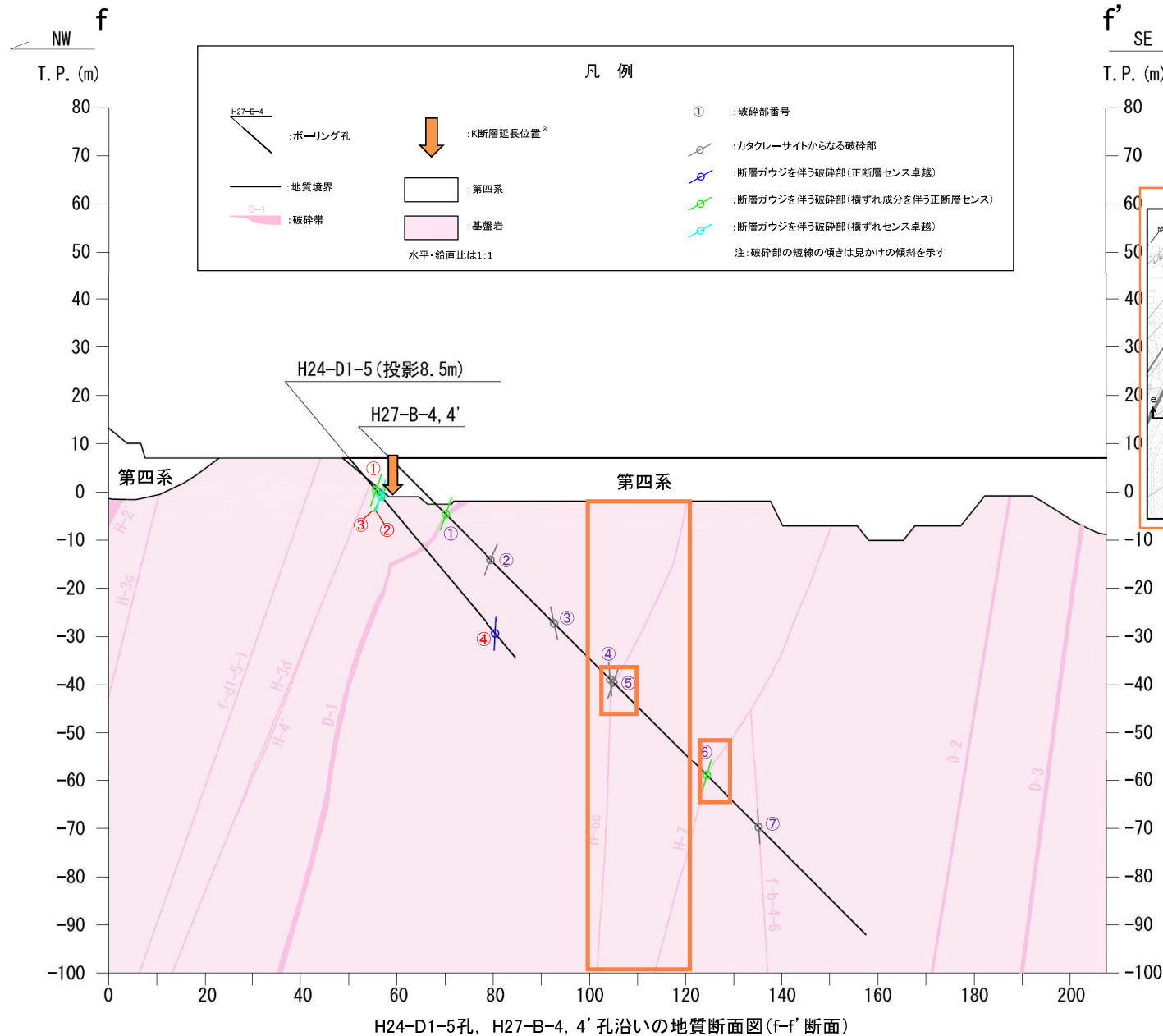
修正後



H27-B-3孔, H24-D1-3孔, H24-D1-2孔及びH24-D1-4孔沿いの地質断面図(e-e' 断面)

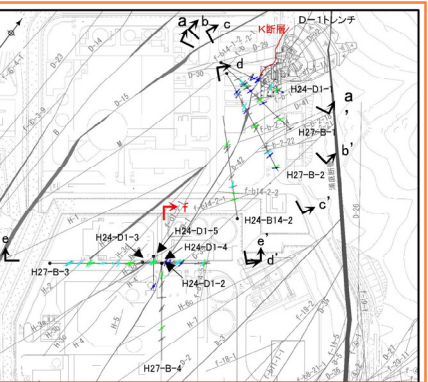
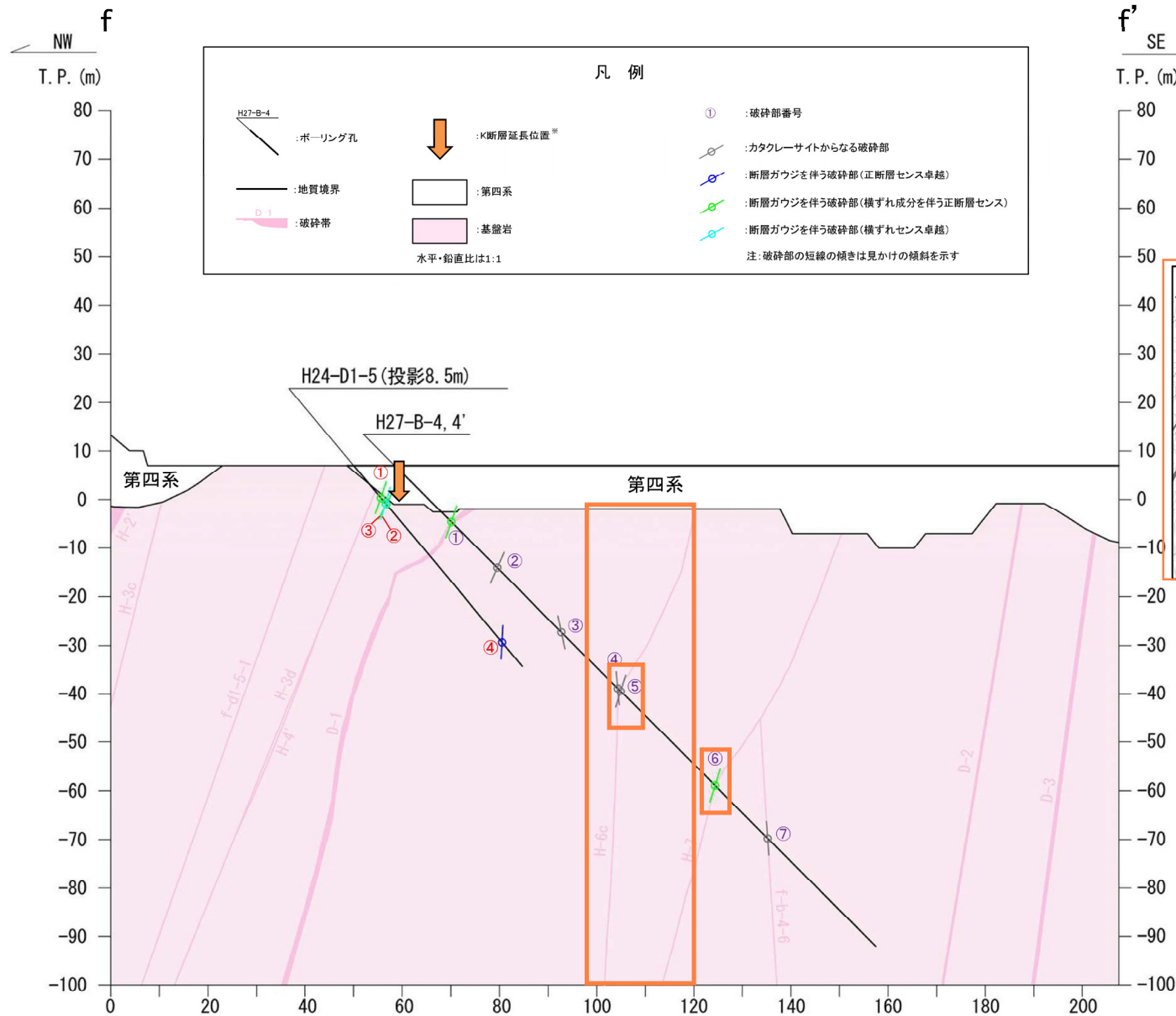
※: K断層延長位置は、以下に示す方法により求めた走向・傾斜を用いた。
 (走向は、T.P.-15mにおけるK断層の端部を結んだ線(NE)の方向(N7W)とした。
 傾斜は、K断層とほぼ直交するD-1トレンチの断面C-C'におけるK断層の上端と下端を結んだ線の傾き(78W)とした。)

K断層の連続性評価について



K断層の連続性評価について

148 : H-6c破碎帯分布の修正 (H27-B-4④と合うように修正)
 157 : 走向・傾斜等の修正内容を反映



断面位置図

※: K断層延長位置は、以下に示す方法により求めた走向・傾斜を用いた。
 (走向は、T.P.-15mにおけるK断層の端部を結んだ線の方(N7W)とした。
 傾斜は、K断層とほぼ直交するD-1トレンチの断面C-C'におけるK断層の上端と下端を結んだ線の傾き(78W)とした。)

H24-D1-5孔, H27-B-4, 4' 孔沿いの地質断面図 (f-f' 断面)

(参考) 薄片試料の作製について

・薄片試料観察に当たっては、以下の作製手順に基づき、観察箇所を適切に選定し、試料切断から審査資料作成に至るまで、薄片試料作製方向が整合していることを確認する。

・コアで認定した最新活動面を含むように、断層面に直交方向かつ条線方向に平行方向に試料を切断する。

・切断した試料に、条線方向をX(下向きを正)、断層面の法線方向をZ(上盤側を正)として方向を記入する。
 ・記入した薄片試料作製方向について、走向・傾斜、ボーリングの掘進方向から正しいことを確認する。
 ・薄片試料は、肉眼観察により認定した最新活動面に沿って最も細粒化した部分を含み、人為的な試料の乱れの無い部分で作製する。

・作製した薄片試料にも薄片試料作製方向を示すZ方向、X方向を記入し、切断した試料に示した方向と合っていることを確認する。

・薄片観察結果として資料化した際に、薄片試料作製方向が資料化の途中で誤っていないことを確認する。

コア写真

113

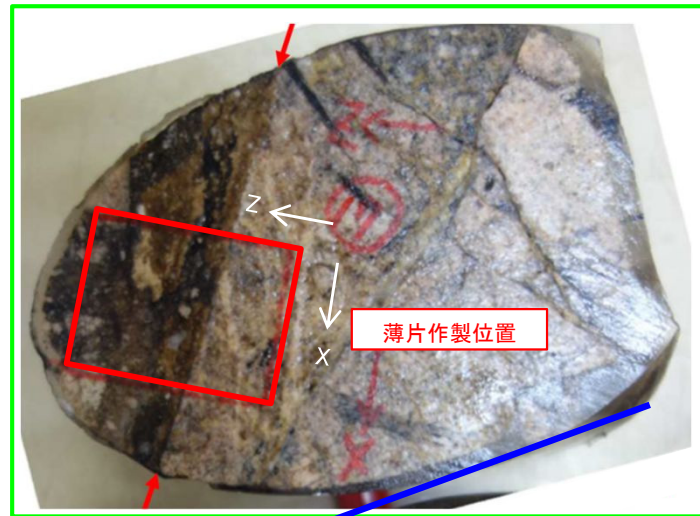


114

試料の加工範囲



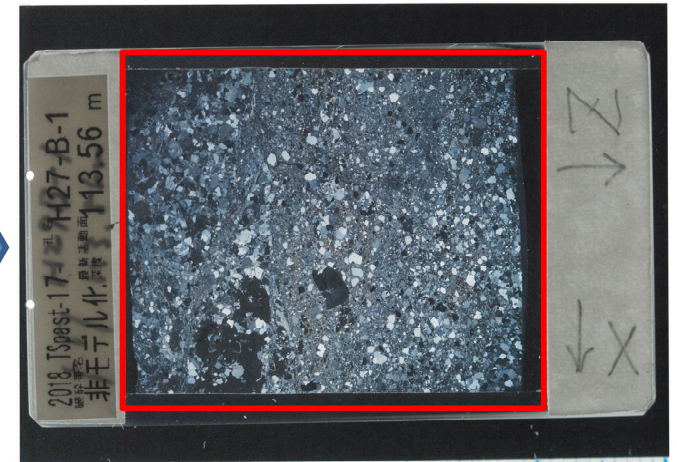
薄片作製位置の研磨片写真



薄片作製位置

X:条線方向(下向きを正とする)
 Z:断層面の法線方向(上盤側を正とする)

薄片試料(直交ニコル)

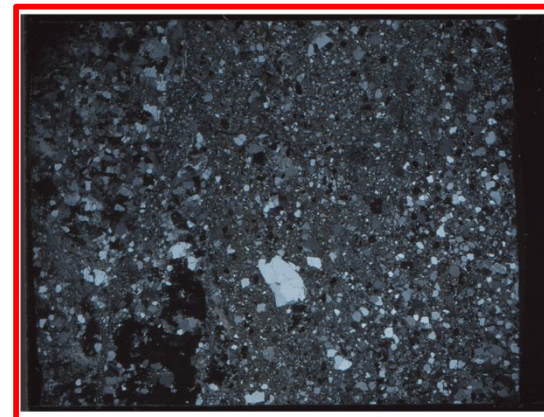


X:条線方向(下向きを正とする)
 Z:断層面の法線方向(上盤側を正とする)

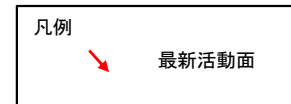
切断した試料の写真と薄片におけるそれぞれの組織の分布を対比し、切断した試料に記載した方向と薄片に記載した方向が整合していることを確認する。



薄片全景写真(直交ニコル)



Z
 ↓
 X



X:条線方向(下向きを正とする)
 Z:断層面の法線方向(上盤側を正とする)

余白